事例No.	2488
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	狩俣自治会

事例区分	地域活性化

タグ	・地域運営組織 ・移住定住 ・少子化・人口減少

事例種類	地域振興

事例内容・タイトル

「つなぐ心」で持続可能な地域作りをめざす～優先順位は「幼・老・青・般」～

出典

令和3年度優良事例表彰一覧

全国過疎地域
連盟会長賞

狩俣（かりまた） 自治会

『つなぐ心』で持続可能な地域づくりを目指す
～優先順位は「幼・老・青・般」～



狩俣小学校ガジュマルの木で遊ぶ狩俣っ子。小さな拠点づくり支援事業を活用し、ツリーハウスを建設する予定の場所。

事例の概要

狩俣自治会は令和４年３月19日には創立120周年を迎える歴史ある組織。10団体の下部組織からなり，地域の祭りやイベント、防犯活動から青年会活動、子供会活動までと幅広い活動を行っている。

令和２年に自治会の会長・総務・会計の３人の幹部が40代となり、自治会活動の継続・発展のための活動の方針と活動計画・新規事業を「狩俣版SDG s」として役員や住民に示したことで持続可能な地域づくりを目指す気運が高まり、令和２年度からEVシェアリング事業及び休園中の狩俣幼稚園の復活に取り組んだ。

また、県の 「小さな拠点づくり支援事業」を活用し、令和３年４月には地域ビジョン「『おいしい狩俣』新規事業計画書」を策定し、令和３年事業として地域活動拠点としての地域食堂の整備とツリーハウスの設置が進行中である。

小さな拠点作り事業では、工事や物品の購入に専門能力を持つ地元の業者を活用して地区内の経済の循環を図る「餅屋システム」が活用され、地域内での経済の循環に寄与している。



狩俣集落センターにて　毎月１日実施の狩俣自治会定例役員会の様子。

評価のポイント

狩俣自治会は、宮古島の北端、旧平良市の一部で池間島への池間大橋に続く半島の根元にある字狩俣の住民組織である。令和４年に創立120年を迎える、宮古島で最も歴史ある自治会といわれ、集落は石垣とフクギを持つ家が密集した集落である。

狩俣自治会には下部組織が10団体あり、宮古島の中では以前から活動が活発な地区として知られていた。宮古島市からのSDGsの運動を起こす働きかけを受け、令和元年度に市の主催で中高生を含めて何度もワークショップを開催し、地域の課題を議論した。その流れの中で自治会役員の若返りが図られ、令和２年４月に会長・総務・会計の３人の幹部はすべて40代となった。

その後、県が市の紹介で狩俣地区を小さな拠点づくりの支援事業に採択し、自治会では令和２年10月から年度内に県や市の関係者を交えて10回以上の会議を重ね、自治会として令和３年４月に地域ビジョン「『おいしい狩俣』新規事業計画書」を策定した。その中で令和２年度から動き出したものが、EVの導入による高校生の通学と高齢者の通院のサポートと、保育園の復活への働きかけである。保育園は入園者の減少で休園になっていたが、外部に通わせている家庭と話し合いを重ね、入園者の基準を上回ることによって、令和３年４月からの復園を実現した。

狩俣地区には29haの字有地があり、農地や車エビ養殖事業者からの地代収入約800万円が自治会の主たる収入源である。EVは中古を地区内の企業が購入して自治会がリースする形をとっている。

また、令和２年度から動いている「餅屋システム」は、工事や物品の購入に専門能力を持つ地元の業者を活用して地区内の経済の循環を図るシステムで、EV及び充電スタンドのみならず、外灯のLED化の発注、現在進行中の小さな拠点づくり事業等で活用されている。

令和３年度事業として、小さな拠点づくり支援事業では地域食堂の整備とツリーハウスの設置が進行中であり、いつも人が集まれる場所として期待されている。これも餅屋システムによる発注と、地域からの様々な応援が予定されている。

地域ビジョンの実現への作業は始まったばかりであるが、自治会役員が若返ってから、これだけ短時間での着実でスピードのある展開はあまり例を見ない。地域社会をいい形でまるごと未来につなげようという、おおらかさも貴重である。発展途上ではあるが、自治会単位の取組みとしては出色であり、今後の一層の発展が期待される。



狩俣地区は三方を海に囲まれた自然豊かな地域。その狩俣近海で獲れた新鮮な海の幸（伊勢エビ、島タコ、海ブドウなど）。



狩俣小学校前にて　狩俣自治会交通防犯支部による春の交通安全運動の一環で、小学校通学路で交通整理をする自治会の方。



自治会が運営する電気自動車相乗りサポートに活用し、高校生の通学や高齢者の通院などに利用されている。電気自動車は、太陽光パネルで発電した電気を活用し運行している。

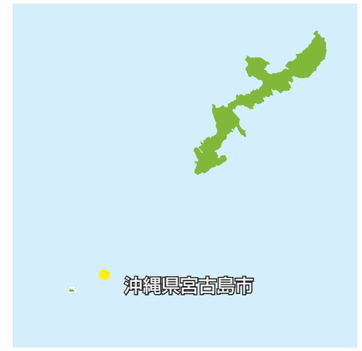
DATA

沖縄県 宮古島市（みやこじまし）

団体名▶狩俣自治会
所在地▶〒906-0002 沖縄県宮古島市平良狩俣1255-1
連絡先▶ TEL：0980-72-5051

【交通のご案内】

航　路▶羽田空港より宮古空港まで約３時間
成田空港より下地島空港まで約２時間50分
那覇空港より宮古空港（下地島空港）まで約50分
（他に関西、神戸、名古屋直行便あり）



● 国勢調査人口　（単位：人）

市町村名	昭和35年	昭和55年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
宮古島市	69,442	58,788	54,183	53,493	51,988	51,186

●人口増減率　（単位：%）

市町村名	H27/S35	H27/S55	H27/H12	H27/H17	H27/H22
宮古島市	-26.3	-12.9	-5.5	-4.3	-1.5

● 高齢者・若年者比率（H27年）（単位：%）

市町村名	高齢者比率	若年者比率
宮古島市	24.9	10.7